

飛び出せ昆虫マップ

沖縄アミークスインターナショナル「Bug Squad」
3年 田邊 理勇 島袋 禮

1. 目的、動機

- (1) 目的→昆虫を探す楽しさをいろんな人に伝えるため。
- (2) 動機→毎日、学校で昆虫を探集していて沖縄にしかいない生き物もいることを知り地域によって違う生き物がいるのかということを知りたいと思ったから。

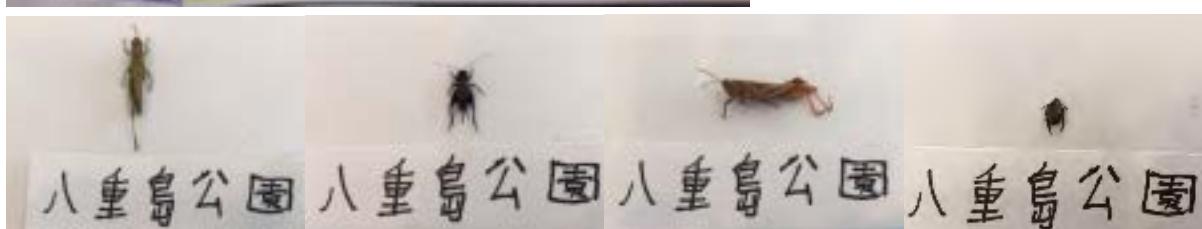
2. 方法、内容

- (1) 方法→いつも行っている八重島公園を中心に沖縄本島の中部、南部、北部の公園にいる虫を探集し、標本にして公園の地図に表す。
 - ① 朝7時～9時までの間に公園で虫を探します。
 - ② 採集できる虫は採集して、採集できない虫は写真を撮る。
 - ③ 悩んだ点→どのように研究するか地図にしていくかよくわからなかった。
- (2) 内容(見つけた昆虫や公園の特徴など)
 - ① 八重島公園(中部)
カマキリ、バッタ、セミ、コオロギ、トカゲ、トンボ、チョウ。
公園の特徴→大きな木がたくさんある。草むらがたくさんありバッタがたくさんいました。
 - ② 浦添大公園(南部)
カナヘビ、バッタ、セミ、ナナフシ、カマキリ
公園の特徴→大きな木がたくさんある。落ち葉がたくさん落ちている。
落ち葉をどかすとヘリグロヒメトカゲがたくさんいました。
川(水辺)がある。水辺にはトンボが多くいた。
 - ③ かんなダム(北部)
セミ、トンボ、カマキリ、バッタ、マダラコオロギ、バナナセセリ
公園の特徴→大きな池がある。水辺にはいろんな種類のトンボがいた。木がたくさんある。蝶の好きな花がたくさんある。
 - ④ 赤坂公園(千葉県成田市)
ジョロウグモ、バッタ、アリ、イナゴ、セミの抜け殻
公園の特徴→イチョウの木、どんぐりの木、ヒノキがたくさんある。ヒノキにだけセミの抜け殻がついていた。虫が少なかった。
- まとめ→公園の特徴によって、いる虫の違いがあったけど、地域別では虫に違いはなかった。
県外の公園では虫に違いがあった。特にジョロウグモの体の色の濃さが違った。バッタも色の違いがあった。
- 結果→沖縄本島では虫に違いはないが、県外と沖縄本島では違いがあった。

八重島公園



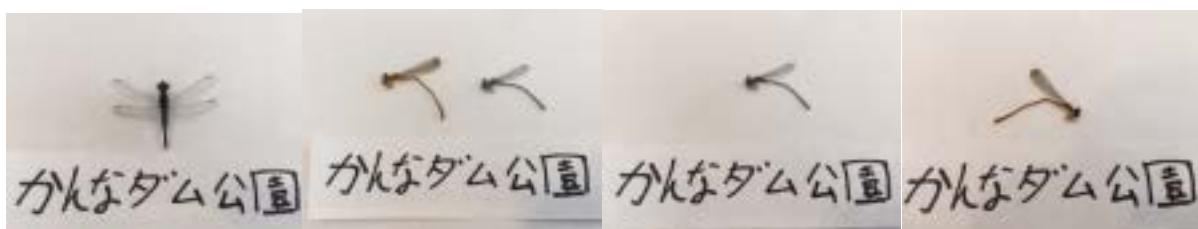
- ① ツチイナゴ
バッタ
ショウリヨウバッタ
マダラバッタ
- ② コオロギ
- ③ カマキリ、セミ
キノボリトカゲ
- ④ トンボ
ベニトンボ
- ⑤ ヒメコガネ



かんなダム湖畔公園



- ① ジョロウグモ（赤ちゃんたくさん） ② カマキリ ③ 黄チョウ ④ オオシマゼミ
⑤ バッタ ⑥ トンボ（オキナワチョウトンボ、コシブトトンボ、ムスジイトトンボ、
リュウキュウベニイトトンボ、ベニトンボ、タイリクジョウジョウトンボ、
オオハラビロトンボ、オオシマゼミ オス・メス）



浦添大公園（いこいの広場ゾーン）

- ① ヘリグロヒメトカゲ
- ② カマキリ
- ③ ナナフシ
- ④ カマキリ
- ⑤ アブラゼミ
- ⑥ トンボ、ヒグラシ
- ⑦ トンボ（ベニトンボ）



千葉県成田市赤坂公園

- ① セミの抜け殻
- ② ジヨロウグモ
- ③ アリ

